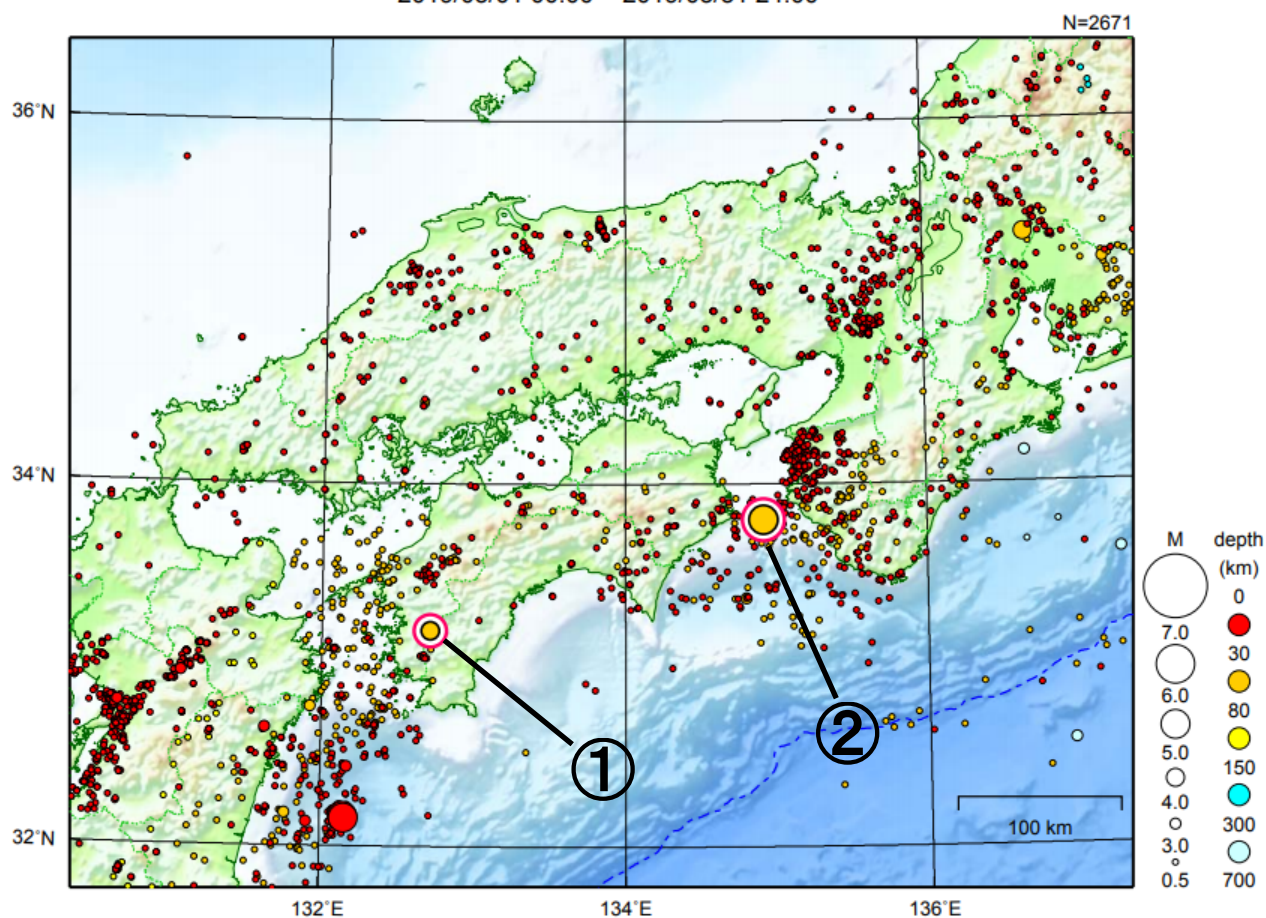


近畿・中国・四国地方

2019/03/01 00:00 ~ 2019/03/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

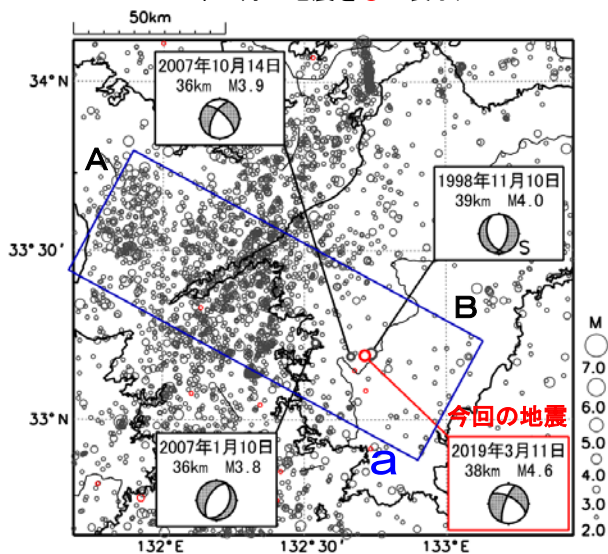
- ① 3月11日に愛媛県南予で M4.6 の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 3月13日に紀伊水道で M5.3 の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

3月11日 愛媛県南予の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2019年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$
2019年3月の地震を○で表示)

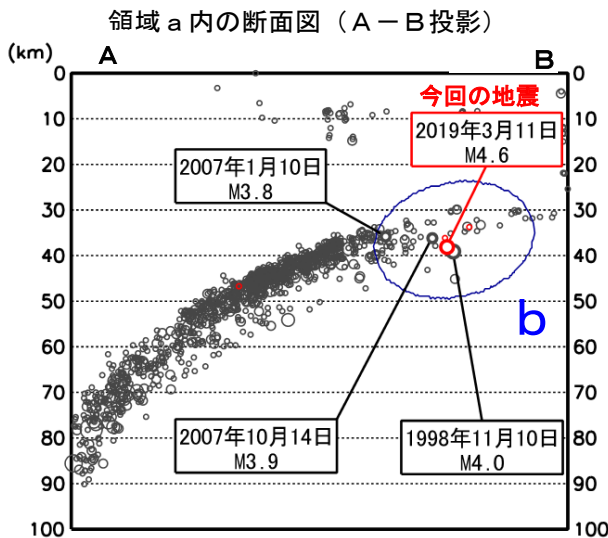
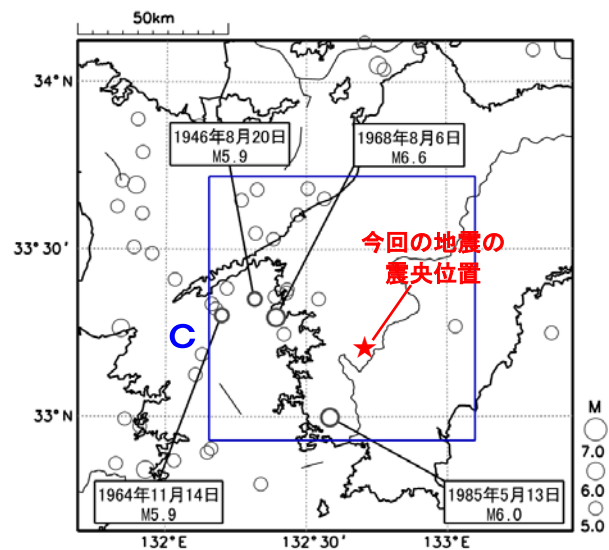


2019年3月11日15時37分に愛媛県南予の深さ38kmで $M4.6$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

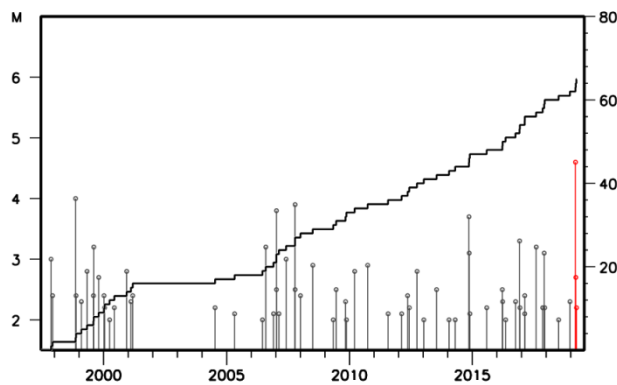
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、 $M4.0$ 程度の地震は時々発生しているものの、プレートのより深い部分に比べ地震活動が活発な領域ではない。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M6.0$ 程度の地震が時々発生している。1968年8月6日に発生した $M6.6$ の地震 (最大震度5) では、愛媛県を中心に負傷者22人、また宇和島の重油タンクのパイプ破損により重油170klが海上に流出するなどの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

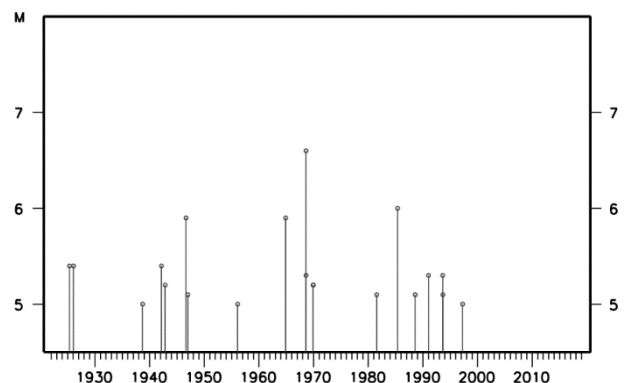
震央分布図
(1922年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$
2019年3月の地震を○で表示)



領域b内のM-T図及び回数積算図



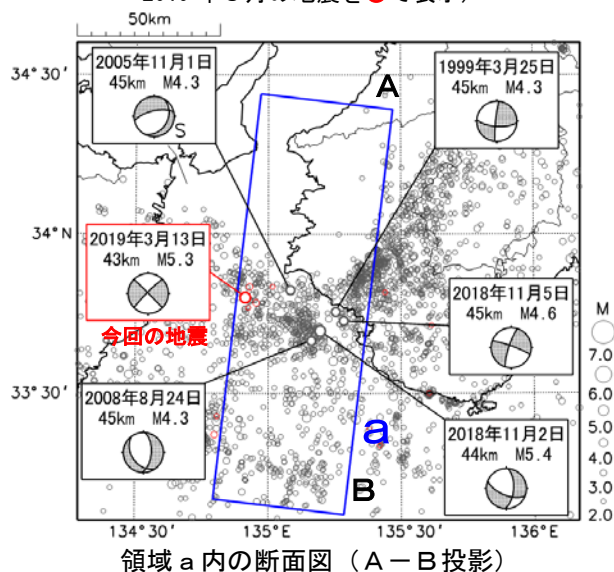
領域c内のM-T図



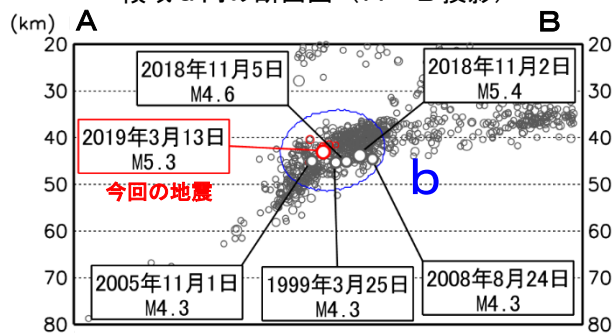
3月13日 紀伊水道の地震

震央分布図

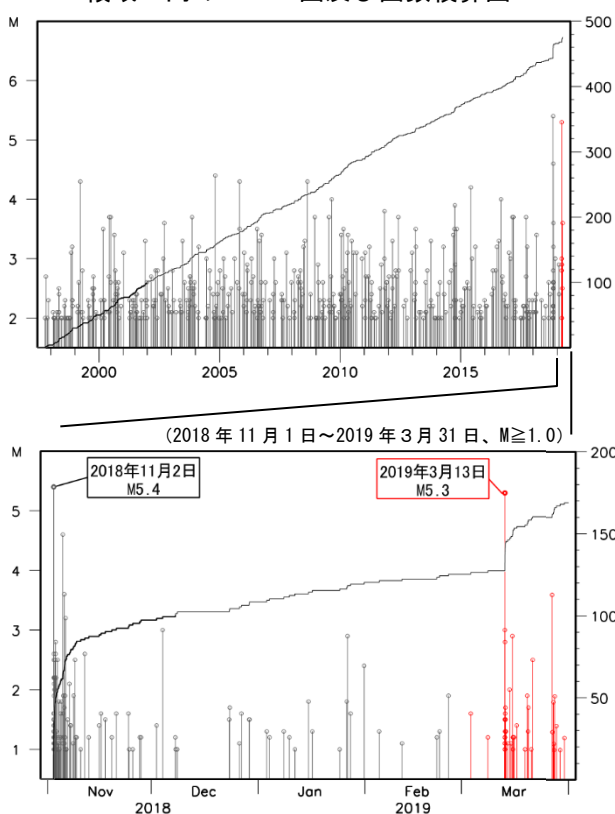
(1997年10月1日～2019年3月31日、
深さ20～80km、 $M \geq 2.0$
2019年3月の地震を○で表示)



領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内の M－T 図及び回数積算図



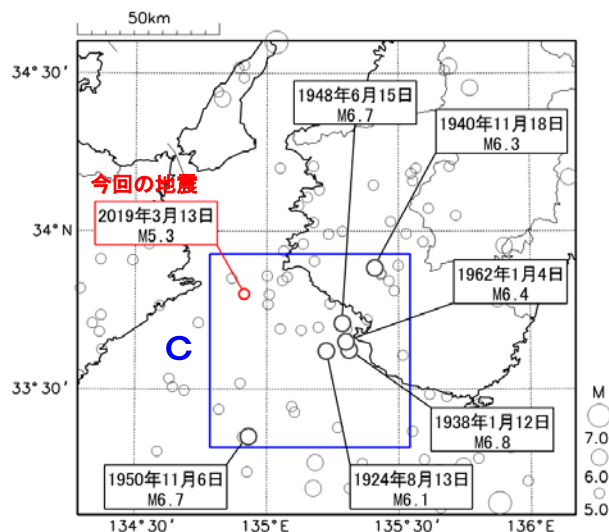
2019年3月13日13時48分に紀伊水道の深さ43kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。今回の地震発生後、震源周辺でややまとまった地震活動がみられた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2018年11月2日には、M5.4の地震（最大震度4）が発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1938年～1962年にM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$
2019年3月の地震を○で表示)



領域 c 内の M－T 図

